

「北部オンデマンドバス」誕生の背景

平成21年度から運行している「かすがいシティバス北部線（以下、北部線）」は、利用者が少なく、さまざまな課題を抱えていました。

行政の課題

北部線はほかの「かすがいシティバス」路線と比べ利用率が低く、このままでは路線存続が難しい

牛山区の課題

- ・北部線はバス停が遠い
- ・道路が狭いため、大きなバスでは住宅地に近づけない
- ・市民病院やスーパーマーケットへの便利な公共交通機関がない

令和元年11月～ 「牛山区交通検討会」の立ち上げ

「牛山区を中心とした、新しい移動サービスの検討が必要」という行政と牛山区の共通認識のもと、「牛山区交通検討会」を立ち上げました。



令和2年2月～

コミュニティ交通の先進事例を視察、実証実験モデルの検討

豊明市、瀬戸市、多治見市の事例を視察し、牛山区での実証実験の方法を検討しました。



令和2年8月～

「定時定路線型バス」及び、「予約型バス」の実証実験を実施

実証実験の結果

- ✓ ワゴン車にしたことで、乗り入れ地域が広がり、新規利用者が増加
- ✓ 利用者数や利便性から、「予約型バス」が支持された（高齢者からも予約型が使いやすいという声が多かった）
- ✓ 「定時定路線型バス」は牛山駅発、間内駅発が隔日運行となり、サービスが低下した
- ✓ 2つの実証実験の結果、「予約型バス」を採用



令和2年12月～

オンデマンドバス運行決定

令和3年8月～

北部線に代わる、新しいコミュニティ交通「北部オンデマンドバス」の運行を開始

牛山区交通検討会報告書

呼び出して乗れる！

「北部オンデマンドバス」誕生！ 8月より運行開始

※7月は無料運行予定

利用者の声

実証実験中の「北部オンデマンドバス」を利用した皆さんにお話を聞きました。



「スーパーマーケットの目の前にバスが停まってくれて、予約した時間に迎えにも来てくれるのでとっても便利です」

「転んでしまったから自転車に乗らなくなっていたので、便利なバスができてありがたいです」



「今年の夏に夫が免許を返納することになりました。自宅のすぐ近くに停留所があるので、これからは夫婦でバスのお世話になると思います」

「グラウンドゴルフをしています。バスがグラウンドの駐車場まで乗り入れてくれるので助かっています」



北部オンデマンドバスとは？

令和3年8月から運行を開始する「北部オンデマンドバス」は、牛山区と鷹来地区の一部を走る乗り合いコミュニティバスです。利用率の低かった「かすがいシティバス北部線」を見直し、皆さまの自宅のそばまでお迎えに行くワゴン車を新たに導入します。電話やインターネットから予約すると、地区内67か所の乗降ポイントから市民病院や近くのスーパーマーケット、牛山駅、間内駅などに気軽にアクセスできます。自宅の近くで乗車し、行きたい場所へ！より便利な地域住民の足となるよう運行していきます。

運行内容

- 呼び出して乗れるワゴンバス -

運行開始日(予定)

令和3年8月2日～(8・9月は移行期間)

運行日

平日のみ(土日・祝日・(12月29日～1月3日)は運休)

運行時間

午前7時30分から
午後3時30分まで

使用車両

ワゴン車
(定員9人)

運賃

かすがいシティバスと同等

乗降場所

67か所

電話受付時間

午前7時30分から午後3時まで

インターネット受付時間

24時間受付可能

1 牛山区における交通検討の歩み

牛山区は名鉄小牧線の牛山駅、間内駅のほか、平成 21 年度から「かすがいシティバス北部線（以下、北部線）」が整備されています。しかしながら、北部線は利用率が低く、見直しの必要がありました。牛山区自治会からも利便性向上のための改善策を検討する自主的な動きがあり、春日井市の支援のもと、牛山区にあった交通手段を創るため「牛山区交通検討会」を立ち上げることになりました。

2 実証実験を実施

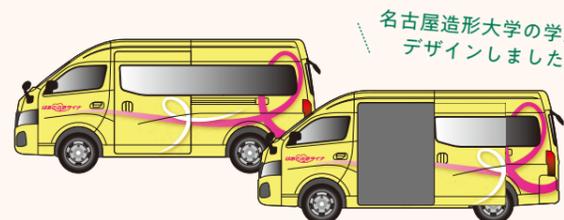
北部線の見直しのため、「牛山区交通検討会」では 2 つの実証実験を実施しました。

第一弾 定時定路線型バス	実験期間 令和 2 年 8 月 3 日（月）～8 月 14 日（金）の月・火・水・金（無料期間） 令和 2 年 8 月 17 日（月）～9 月 18 日（金）の月・火・水・金（有料期間）	第二弾 予約型バス	実験期間 令和 2 年 10 月 5 日（月）～10 月 16 日（金）の平日（無料期間） 令和 2 年 10 月 19 日（月）～11 月 20 日（金）の平日（有料期間）
	運行路線 牛山駅～春日井市民病院間の往復（月・水の運行） 間内駅～春日井市民病院間の往復（火・金の運行）		運行エリア 牛山区・鷹来地区
	車両 ワゴン車両		車両 ワゴン車両
	料金 かすがいシティバスと同様		料金 かすがいシティバスと同様

3 実証実験結果

有料利用者	定時定路線型バス	187人 (6.7人/日)	予約型	401人 (16.7人/日)
全体利用者		385人 (13.7人/日)		603人 (17.7人/日)
高齢者利便性 使いやすいと感じたか		80歳以上: 66% 70歳代: 77% 60歳代: 100%		80歳以上: 75% 70歳代: 84% 60歳代: 100%
		71.9%が「使いやすい」		83.6%が「使いやすい」
現北部線利用者の移行可否	移行不可	牛山駅発、間内駅発は隔日運行となり不便	移行可	北部線の現利用者が問題なく移行できる

4 バスのデザイン



名古屋造形大学の学生がデザインしました！

「北部オンデマンドバス」は、定員 9 名のワゴン車で運行します。黄色の車体に白とピンクの鮮やかなリボンが目印。後部座席の扉が開くと、白とピンクのリボンが結ばれるデザインで、人とまちのつながりを表現しています。

5 活動記録

令和元年	「牛山区交通検討会」の立ち上げ	11月	牛山区交通検討会の立ち上げ 第1回 ・市内公共交通の現状・先進事例の紹介
7月	牛山区自治会自主アンケートを実施	12月	第2回 ・牛山区内の状況・他市事例について
令和2年	コミュニティ交通の先進事例を視察、実証実験モデルの検討～実証実験開始	6月	第5回 牛山区役員会報告
2月	他市事例の視察 ・豊明市「チョイスコ」（AI オンデマンド運行） ・瀬戸市「住民バス」（菱野団地コミュニティ交通運行協議会が運行） ・多治見市「多治見市のりあいタクシー」（町内会主体）	7月	第6回 ・定時定路線型バス実証実験の意見交換
	第3回 ・視察結果の共有 ・地域のニーズの確認	8月	第7回 ・予約型バス実証実験内容の決定 ・定時定路線型バス実証実験の検証
3月	第4回 実証実験モデルの検討	9月	第8回 ・アンケートの実施方法の検討
4月	牛山区交通検討会書面意向調査 ・オンデマンドバス（予約型） 及び定時定路線実証実験方法の検討	10月	第9回 ・実証実験及び北部線の運行状況
5月	実証実験の種類や時期の決定	11月	第10回 ・予約型バス実証実験の検証
		12月	第11回 ・2種類の実証実験の比較・検証 ・名古屋造形大学の学生によるバスのイラスト
			第12回 ・オンデマンドバス運行の決定 ・乗降ポイントの選考方法
令和3年	北部線に代わる、新しいコミュニティ交通「北部オンデマンドバス」の運行を開始	3月	第13回 ・乗降調査結果（速報） ・北部オンデマンドバスのPR方法
1月	牛山区役員会報告 ・乗降ポイントの選考方法		第14回（最終） ・乗降調査結果

牛山区交通検討会

- 三輪 康昌（牛山区長） 平出 幸広（副区長）
 - 家田 良穂（東地区長） 長谷川 剛（西地区長）
 - 加藤 勝治（南地区長・交通消防相談役）
 - 山本 吉久（北地区長） 稲垣 忠生（牛山地区社会福祉協議会）
 - 西尾 進（百寿会） 長谷川 孝夫（コミュニティ推進協議会）
 - 美濃部 晃市（体育振興会） 高尾 裕樹（校区こども会）
- 計 11 名 ※役職は令和元年度当時



- オブザーバー
- 中部大学教授 磯部 友彦 地域包括支援センター職員 南谷 梓
 - 春日井市内タクシー組合 組合長 奥村 薫績

令和元年から 14 回に渡って実施してきた「牛山区交通検討会」。牛山区の積極的な活動により、地域住民がより便利に利用できる「北部オンデマンドバス」を運行するカタチで実を結びました。